

令和3年度(2021年度) ハラスメントに関するアンケート結果について(概要)

1 アンケート実施日

学 生:令和3年(2021年)4月～5月
教職員:令和3年(2021年)4月～5月

2 アンケート対象者数

学 生:1,684名
→新入生を除く学部生・大学院生(男性685名、女性999名)
教職員:161名
→教員79名、事務職員25名及び非常勤嘱託職員57名(男性82名、女性79名)
※新任教職員を除く

3 質問内容

別添アンケート様式のとおり

4 調査結果

(1) アンケートの回収状況

<学生>

- ・学部生(2,3年生)に対しては、4月に学生ポータル内のオリエンテーションページにおいて、ハラスメント相談についての動画説明と併せてアンケート依頼
- ・学生ポータル内のお知らせ欄において依頼(オリエンテーション対象外の学生にも周知)
(メール及び学生ポータルお知らせ欄において、リマインドを実施)

<教職員>

- ・教職員(非常勤嘱託職員を含む)に対しては、メールにより依頼。(リマインドを実施)

◆回収率:36%(R2:26%、R1:54%、H30:45%)

R2年度までオリエンテーション時に紙で回収していたものを、R3年度からFormsで回答できるように変更した。今回、学生ポータル及びメールで周知し回答依頼したが、学生の回答率が減少した。教職員の回答率は上昇した。

(2) ハラスメントの内容

- ・アンケートの結果、学生4名、教職員12名の計16名からハラスメントを受けたとの回答あり。
(R2:学生2名、教職員4名、R1:学生2名、教職員2名、H30:学生3名、教職員1名)
- ・内容は「アカデミックハラスメント」や「パワーハラスメント」と思われるもの等であった。
- ・相談先としては、友人、家族、同僚、上司、学内相談員、外部の相談機関に相談している状況。

(3) 相談員への相談

- ・ハラスメント相談員に相談した件数 3件

(4) その他の意見・要望

- ・学生及び教職員から、ハラスメント問題に関する個人の考え方、ハラスメントの実例、人権問題等の課題や必要性など、54件の記載があった。

(5) アンケートに関して対応した事項

- ・教職員を対象に実施する人権研修を必須研修とし、アンケート結果を参考としたハラスメントの防止等に必要な研修を行う。
- ・ハラスメント相談員及び管理監督者向けにハラスメント相談対応研修を行う。